

漁業で潤う豊かな宮崎を目指して



漁青連ボーリング大会

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政



宮崎県浮魚礁利用協議会
高知県・愛媛県との調印式
学校給食献立調理発表会出席



太平洋クロマグロの資源・養殖管理
に関する全国会議
儲かる漁業実現プロジェクト推進協議会
平成24年8月属人水揚げ表

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



県域ビジョン第3回幹事会
県域ビジョン第1回協議会
2012年度 全国漁連・信漁連 指導部
課長会議
白色申告・青色申告

BUSINESS

業務情報



第2回JF直販・レストラン
連絡協議会開催
県外港での系統石油積み込み推進座談会
ライフジャケット着用は
あなたの人生を守ります!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



宮崎イセエビいただきマンス
広報開始
水産関係団体球技大会
安全衛生委員会・管理職会議
事業推進会議



「ディスカバーみやざき
古事記をゆく浪漫紀行」キャンペーン
「古事記ゆかりのご当地グルメまつり」
開催 JFグループ宮崎も参加

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



本年度発生した赤潮について
8月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関



平成24年度宮崎県船員労働
安全衛生協議会総会
漁船セーフティラリー南九州2012
漁青連ボーリング大会
8月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス



※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

宮崎県浮魚礁利用協議会 高知県・愛媛県との調印式



去る8月10日、水産会館4階研修室において、宮崎県沖浮魚礁(うみさち)の利用について高知県・愛媛県船の利用についての覚書・協定書の調印式を行った。

調印については、滞りなく行われ、ルールの遵守と安全な操業について再度確認を行い終了した。

学校給食献立調理発表会出席



去る8月21日、(財)宮崎県学校給食会主催する「地場産物を利用した学校給食献立調理発表会」に出席した。県内7地区から9チームが出場し、地場産品を活用した献立を披露した。どの献立も工夫を凝らしたメニューで、水産物ではイワシ・ちりめん・トビウオ・しいらなどが使われていた。当日のメニューについては 公益財団法人 宮崎県学校給食会ホームページをご覧ください。

太平洋クロマグロの資源・養殖管理に関する全国会議

8月29日に三田共用会議所講堂(東京都)において、水産庁主催による太平洋クロマグロの資源・養殖管理に関する全国会議が開催され、全国よりマグロ関係者が多数参加された。本県より県、漁業者代表、漁協担当者、事務局より10名が出席した。

佐藤水産庁長官の挨拶の後、水産庁並びに水産総合研究センターより説明の後意見交換となる。

水産庁宮原次長より、世界のマグロ類の漁獲状況、管理の状況、資源の状況等の説明があり、この中で太平洋クロマグロの資源が減少しており危惧される、日本への供給が地中海からメキシコに移ってきている、未成魚の漁獲規制の強化、届出制への移行、天然種苗に由来する養殖については全国的に9,000トン台の現状を維持することの他、今後も管理体制を確立すべく努力していくこと等が報告された。

参加者からは、大型まき網漁業に対する規制の強化、韓国からの輸入規制、離島地域に於いてはクロマグロ養殖が主要な産業となっているため配慮をお願いする等の意見が出された。

宮原次長からは最大の漁業国かつ消費国である我々が、先に取り組んでいくということが国際的に理不尽な規制を押しつけられないようにする意味で大変大事なことである。WCPFCの協議の場に於いて、日本が何をやっているかを報告するとともに、他の国が何をやっているのか確認し、韓国については、本当に管理をやっているのかということをお願いしたい。日本がきちんとやっているか検討される場でもあるので、きちんと説明をしていくつもりであるとの回答があった。

(説明内容)

ア.太平洋クロマグロの管理強化の取組状況と今後の対応

水産庁 宮原次長

イ.太平洋クロマグロの調査研究について

水産総合研究センター 和田理事

儲かる漁業実現プロジェクト推進協議会

8月10日(金)水産会館内会議室で平成24年度第1回儲かる漁業実現プロジェクト推進協議会が開催された。協議の結果、下記2つのモデルが原案どおり採決され、本年度事業で採用されることとなった。

- ・旗流し漁業とまぐろ延縄漁業の複合経営化モデル
- ・次世代型近海かつお釣り漁船による新操業モデル

平成24年8月属人水揚げ表

漁協名 \ 区分	8月分			8月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	2,961	113,900	38	20,653	1,298,989	63	22,850	1,409,519	62	-2,197	-110,530	1.4
島浦町	984	98,547	100	7,502	964,538	129	7,535	1,113,954	148	-33	-149,416	-13.1
延岡	53	24,631	469	386	152,973	397	244	62,918	258	142	90,055	53.8
延岡市	160	123,367	772	886	400,351	452	774	402,455	520	112	-2,104	-13.1
庵川	52	23,858	457	1,159	435,352	375	1,209	422,092	349	-50	13,260	7.6
門川	26	13,323	508	353	191,902	544	339	165,940	489	14	25,962	11.2
日向市	148	70,651	477	2,884	1,488,177	516	2,557	1,481,910	580	327	6,267	-11.0
都農町	17	13,249	761	325	191,623	589	306	167,980	549	19	23,643	7.4
川南町	32	31,258	965	2,384	1,411,930	592	2,397	1,346,231	562	-13	65,699	5.4
一ツ瀬	8	6,168	792	102	64,814	637	115	77,626	677	-13	-12,812	-5.9
憶浜	7	1,843	276	81	29,566	364	80	27,301	342	1	2,265	6.3
宮崎	63	17,134	271	835	290,741	348	777	275,599	355	58	15,142	-1.9
宮崎市	28	9,759	351	637	283,916	446	570	273,781	480	67	10,135	-7.2
日南市	497	237,277	477	5,995	2,287,310	382	6,696	2,394,509	358	-701	-107,199	6.6
南郷	1,752	733,765	419	12,577	4,511,682	359	14,126	4,564,410	323	-1,549	-52,728	11.1
栄松	110	35,870	326	1,030	376,347	365	1,325	462,933	349	-295	-86,586	4.7
外浦	512	191,714	375	4,908	1,560,189	318	5,205	1,589,470	305	-297	-29,281	4.2
串間市東	33	16,809	505	1,085	419,976	387	1,163	358,308	308	-78	61,668	25.7
串間市	37	25,715	691	4,539	2,412,518	532	4,319	2,484,502	575	220	-71,984	-7.6
合計	7,481	1,788,837	239	68,320	18,772,893	275	72,589	19,081,439	263	-4,269	-308,546	4.5

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

ナチュラルミネラルウォーター

美泉水



お問い合わせ先
 本所業務部 0985-28-6111
 延岡支所 0982-37-0030
 日南支所 0987-23-5231

県域ビジョン第3回幹事会

宮 崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進協議会(会長・丸山英満)は、8月31日(金)水産会館第1研修室において第3回幹事会を開催した。提出された協議事項である「宮崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化基本方針について」は、了承された。

県域ビジョン第1回協議会

宮 崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進協議会(会長・丸山英満)は、8月17日(金)水産会館大研修室において第1回協議会を開催した。提出された協議事項である(1)宮崎県の漁業並びに漁協・系統組織の現状と課題について、(2)これまでの経緯と今後の作業概要について、(3)宮崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化基本方針骨子案については、すべて了承された。

2012年度 全国漁連・信漁連 指導部課長会議

J F全漁連(会長 服部郁弘)では、8月29日(水)、東京コープビルにおいて2012年度 全国漁連・信漁連 指導部課長会議を開催した。内容については以下のとおり

1.平成25年度水産関係予算に係る取組みについて

以下の事項を中心に要請

- 東日本大震災からの復旧・復興政策の拡充・強化
- 漁業経営セーフティーネット構築事業予算拡充
- 水産物の消費拡大のための具体的方策、流通促進策
- 多面的機能発揮に伴う交付金創設

2.放射能被害に対する今後の取組みについて

JFグループでは、原発事故により発生している風評被害に対して①原発事故に起因する検査体制の強化②新基準値を超える水産物を流通させないJFグループの取り組み強化③国民に対するリスクコミュニケーションの強化の取組を基本に取り組んでいる。

3.海洋再生可能エネルギー利用促進のあり方について

自然再生可能エネルギーの開発、導入に際して、系統としての考え方やルールを作成の検討に入る。

4.ライフジャケット着用推進に向けた取組みについて

水産基本計画(H24.3.23閣議決定)において「さらに、万一事故が生じた場合の被害を少なくするため、ライフジャケットの着用を推進する取組を強化する。」と明記された。今後、系統として着用推進会議を開催し推進に取り組む。

5.TPP関連の動きについて

様々な場においてTPP反対を表明。

6.購買事業部の取組内容について

石油購買事業強化取扱量向上プラン(2012から2014年度までの3ヶ年間)を策定し、目標数量・利用率を設定し、その達成に努める。

7.平成25年度税制改正に向けたJFグループの対応について

以下の事項を要望

- 漁協等の合併に係る課税の特例
 - 信用保証協会等が受ける抵当権の設定登記等の税率の軽減
 - 漁協・農協等が一定の貸付けを受けて、共同利用する施設を取得した場合の課税標準の特例
 - 特定地域(離島・過疎地域・半島)における工業用機械等の特別償却
 - 原発事故に伴い支払われる賠償金に関する特例措置の創設
- ※地球温暖化対策税がH24.10.1からH26.3.31までの間還付措置が設けられる。



8.各会員の2011年度決算の状況について

9.運動方針アクションプラン前半2ヶ年(2010~2011年度)の総括と後半3ヶ年の展開について

◇前半2ヶ年

将来シミュレーションの実施



危機感の欠如



県域ビジョンの策定遅延、具体的取組未着手

◇後半3ヶ年

全体の底上げ

◆要改善JF対策

県域健全化強化期間(2012~2014年度)として、赤字継続JFの解消等による経営不振JFの欠損金早期圧縮等を重点取組目標。

◆漁連・信用事業非実施JFの資産自己査定導入の徹底

最終年度である2014年度は信用事業非実施JFを含めた完全導入・定着化を目標。

◆漁連・信用事業非実施JFにおける不祥事件・事故等の概要報告について

2012年9月以降、発生・発覚した不祥事件・事故等により、行政庁届出内容の写しを全漁連(信用組織指導部)まで報告。

白色申告・青色申告

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

- ▶ 事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

※ 現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者は、白色申告の方のうち前々年分あるいは前年分の事業所得等の金額の合計額が200万円を超える方です。

平成26年1月からの記帳・帳簿等保存制度

- ① 対象となる方
事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方です。
※ 所得額の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。
- ② 記帳する内容
売上げなどの収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載します。
記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額のみをまとめて記帳するなど、簡易な方法で記帳してもよいことになっています。
- ③ 帳簿等の保存
収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

【帳簿書類の保存期間】

	保存が必要なもの	保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿(法定帳簿)	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿(任意帳簿)	5年
書類	決算に関して作成した総勘定表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、領収書、送り状、領収票などの書類	

記帳説明会のご案内

- ▶ 税務署では、新たに記帳を行う方や記帳の仕方がわからない方のために、記帳・帳簿等の保存制度の概要や記帳の仕方等を説明する「記帳説明会」を実施しています。

記帳・帳簿等の保存制度の詳細や「記帳説明会」等のご案内については、国税庁ホームページ<http://www.nta.go.jp/>の「個人で事業を行っている方の帳簿の記帳・記録の保存について」をご覧ください。また、地域の税務署にお電話いただくか、自動音声にしたがって「2」を選択後、所轄税務担当までお問い合わせください。



税務署

244

青色申告を始めてみませんか？

- ▶ 「青色申告」は、日々の取引を所定の方法により記帳し、その帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面でいろいろ有利な特典を受けることができる制度です。

※ 青色申告の方は、原則として正統簿記の原則(一般的には複式簿記)により記帳を行わなければならないが、簡易な帳簿(①現金出納帳、②売掛帳、③買掛帳、④経費帳、⑤固定資産台帳)で記帳してもよいことになっています。

青色申告の主な特典

- ① 青色申告特別控除
不動産所得や事業所得を生ずべき事業を営んでいる青色申告者である方で、正統簿記の原則(一般的には複式簿記を指します。)により記帳している方については、一定の要件の下で最高65万円を差し引くことができます。
また、簡易な帳簿による記帳であっても、最高10万円の青色申告特別控除の適用を受けることができます。
※ 現金主義による所得計算の特例の適用を受けている場合は、65万円の青色申告特別控除の適用を受けることができません(最高10万円の青色申告特別控除の適用が可能です。)
- ② 青色事業専従者給与の必要経費算入
青色申告をされている方が、事業主と生計を一にしている配偶者や15歳以上の親族で、その事業に専ら従事している人に支払う給与については、仕事の内容や従事の程度等に照らして適正な金額である場合には、その支払った金額を必要経費に算入することができます。
※ この特典を受けるためには、「青色事業専従者給与に関する届出書」を所轄税務署に提出する必要があります。
- ③ 純損失の繰越しと繰戻し
青色申告をされている方は、事業から生じた純損失の金額を、翌年以降3年間にわたって、繰次各年分の所得から差し引くことができます(純損失の繰越し)。また、前年も青色申告をされている場合は、純損失の繰越しに代えて、その損失額を前年分の所得に繰り戻して控除し、前年分の所得税の還付を受けることもできます(純損失の繰戻し)。

青色申告をするためには

- ▶ 青色申告をするためには、青色申告をしようとする年の3月15日までに、「所得税の青色申告承認申請書」に必要な事項を記載して、所轄税務署に提出する必要があります。

※ 新たに開業された方は、原則として開業の日から2か月以内に提出してください。
※ 「所得税の青色申告承認申請書」などの申請や届出の格式は、国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも備蓄しています。

青色申告の詳細は、国税庁ホームページ<http://www.nta.go.jp/>の「ランプレット・手引き」に掲載している「はじめてみませんか？青色申告」をご覧ください。また、地域の税務署にお電話いただくか、自動音声にしたがって「2」を選択後、所轄税務担当までお問い合わせください。



第2回JF直販・レストラン連絡協議会開催

J F直販・レストラン連絡協議会は、8月22日(水)会員(門川・日向市・宮崎市・南郷漁協、県漁連)5名参加のもと第2回JF直販レストラン連絡協議会を開催した。協議事項は下記のとおり

1.(仮称)伊勢海老フェアーについて

9月から11月末にかけて、「宮崎イセエビいただきマンス!」が開催されることから、当協議会も積極的に参加していく。

2.料理イベントについて

11月9日～11日にかけて開催される「古事記ゆかりのご当地グルメまつり」・12月に開催される「宮崎県水産振興大会」への出店。

県外港での系統石油積込み推進座談会

漁 連は、8月18日(土)に県外港での系統利用率向上を目的にJF日向市にて船主及び漁協関係者を参集し推進座談会を開催した。

冒頭、組合長より「漁業情勢の厳しい今こそ漁協系統を利用してJF系統組織を盛り上げる様に頑張りましょう」と挨拶があり、本会は日頃の系統購買事業の利用にしてお礼を述べた。

また、本会より我々の系統組織は石油を始めとする漁業生産資材を取り扱う購買事業だけではなく指導・漁政部門を設置し、あらゆる面から漁業者の事業・生活をサポートする総合事業体である事を改めて説明し、今後とも系統利用に御理解・御協力をお願いした。

今回は、主に船船が水揚入港する県外5県の「JF全漁連系統石油積込店」を紹介し、系統利用した場合の事務処理(商流)について一連の流れを説明した。

出席者からは積込み時の具体的な確認事項に関し質問、意見が出され有意義な座談会となった。

今後とも、JF全漁連と連携し漁業者の要望に応え系統全利用を推進して参りたい。

守ろう! 進めよう!
ライフジャケット
常時着用
一人乗りは着用義務!

ライフジャケット着用はあなたの人生を守ります!

助けたい、助かりたい...
常時着用は漁業者の大切な命綱。

日常点検 をしましょう!

目で見ても、さわって、漁から帰ったら毎日でも

- ベルト、バックル、ファスナー等の破損はないか?
- すりきれ、穴あき、破れはないか?
- 十分な浮力は確保されていますか?
- 作動索は出ていますか?

作動索は必ず救命綱次の外に出しておいてください。

ヘルムの破損

バックルの破損

HELP!

定期点検 が必要です!

- 膨張式ライフジャケットの部品(スプールやマガジン、ボンベなど)は定期的に交換していますか?
- 取扱説明書等にある漏洩試験を定期的に行っていますか?

きちんとメンテナンスしないと、いざという時に役に立たないかも...

安全を安心にするには、点検が必要です。

みんなで行よう

みんなで行よう

ちゃんと育てるか

漁業者の仲間同士でライフジャケットの着用推進・点検をしよう。

複雑な点検作業は部会などで集まるときに、技術者を呼んでみんなでいきましょう。

宮崎イセエビいただきマンス広報開始

「宮崎イセエビいただきマンス」宮崎イセエビを食べよう!!

宮崎県水産物のうち、国内有数の生産量を誇り、貴重で人気のある「イセエビ」に焦点をあて、9月の漁解禁から11月末までの3ヶ月間を「宮崎イセエビいただきマンス!」と銘打ち、この期間に県内各所で開催されるイセエビに関するイベントや料理店などの情報を発信するとともに、イセエビPRを通じて宮崎の魚の認知度向上を図る取り組みをスタートしました。

PR計画については、まず、①**バナー掲示**について、初カツオフェアのバナー掲示と同様に県庁前楠並木通りにバナーを8月27日(月)～9月28日(金)まで、約1ヶ月掲示しました。楠並木通りを通る県庁職員をはじめ、県外観光客などにも宮崎イセエビを随分印象付けました。イセエビのお造り、味噌汁をはじめパスタ、マヨ和えの4種類の料理は、見た人の行動計画に影響を及ぼしたものと考えています。

続いて、②**ポスター**について、イセエビをアップした図柄に県内各地の主要イベントなど伝達項目を掲載し、8月下旬から11月までの期間中、協力店舗をはじめ、県出先機関や関係市町、商工会議所、観光協会、JR九州県内有人駅など、県内公共施設等にポスター掲示をお願いしました。

続いて、③**県政番組等でのPR**について、9月18日(火)に富士漁港の漁師さんやいせえび料理「大海」さんにご協力をいただき取材を行いまして、9月29日(土)午前9時30分からMRT宮崎放送のテレビ県政番組で放映されました。

また、MRTラジオ936、「みやざき美味しい!物語」においても、パーソナリティー竹井由美さんとご一緒に、宮崎イセエビいただきマンスについて、イセエビ漁をはじめ、協力店のイベントなど8月28日(火)に収録し、9月12日(水)18時30分から約30分放送されました。

また、NHK宮崎放送局でも9月7日(金)午後7時前のテレビ放送で宮崎イセエビいただきマンス及び日南海岸イセエビ大漁祭りのお知らせをしていただきました。

続いて、④**知事表敬訪問**について、9月6日(木)午後3時から15分程度でしたが、東九州伊勢えび海道実行委員会及び宮崎日南伊勢えび大漁まつり実行委員会の代表の方々が合同で、宮崎県知事河野俊嗣氏を表敬訪問され、宮崎イセエビの贈呈とイセエビまつりのPRをお願いしました。



FISHERIES CO-OPERATIVE

続いて、⑤ホームページ(HP)への掲載について、8月27日(月)の午後から、宮崎イセエビいただきマンスに関するお知らせをはじめ、県内漁協等イセエビ関連のイベント・フェア(7件)、東九州伊勢えび海道伊勢えびまつり'12参加店(8店)、日南海岸伊勢えび大漁まつり参加店(17店)、漁協直営レストラン等(6店)、上記以外の県内イセエビ料理店等(24店)、プレゼント企画を掲載して、PRに努めました。これにより影響が広がり、宮崎イセエビいただきマンスのHPを活用した掲載が15件発見できました。また、9月末のHPアクセス件数は約1,000件です。



続いて⑥プレゼント企画について、「イセエビいただきマンス!」期間中にイセエビに関する感想等、所定事項を記入して、官製はがきで応募いただき抽選で、毎月5名様に宮崎獲れ活イセエビをプレゼントする企画を実施してします。読者のみなさんご家族揃って応募してください。
9月分、10月分、11月分(最終締め切り12月7日消印有効)の3回抽選して、延べ15名様にプレゼントされます。

主なイベント等について

宮崎イセエビいただきマンス期間内に下記の通りイベントが予定され、実施されています。台風で延期されたところもあります。

開催期間等	イベント名称等	問合せ先氏名
9月2日(日)~12月2日(日)	東九州伊勢えび海道伊勢えびまつり'12	電話0982-29-2155 (社)延岡観光協会
9月8日(土)~11月30日(金)	日南海岸伊勢えび大漁まつり	電話0987-31-1134 日南市観光協会
9月9日(日) 09:00~14:00	内海港いせえび祭	電話0985-65-1011 宮崎市漁協(青島本所)
9月16日(日) 09:00~14:00	なんごう伊勢えびまつり (臨時開催なんごう日の出市)	電話0987-64-1114 日南市水産振興対策協議会 南郷支部 事務局(日南市南郷町総合支所産業経済課)
9月16日(日) 06:00~09:00	串間市漁協イセエビ祭り (くしま朝市よかむん市)	電話0987-72-0020 串間市漁協
9月22日(土) 09:00~14:00	青島漁港いせえび祭り	電話0985-65-1011 宮崎市漁協(青島本所)
9月23日(日) 08:00~10:00	門川みんなと浜市	電話0982-63-2123 門川町漁協(門川町青壮年連絡協議会)
10月14日(日) 09:00~14:00	第19回海鮮!山鮮! きたうら市! ※台風の影響で延期されました。	電話0982-45-4239 延岡市北浦町総合支所地域振興課
10月7日(日) 10:00~12:00	都農町漁協イセエビ祭り	電話0983-250028 都農町漁協 電話0983-25-5721 都農町役場産業振興課
9月2日(日)~	漁協直営レストラン等	宮崎イセエビいただきマンスで検索
9月2日(日)~	上記以外の県内イセエビ料理店等	宮崎イセエビいただきマンスで検索



水産関係団体球技大会

平成24年8月4日(土)に海洋高校体育館において水産関係職員の親睦を図るため水産関係団体親善球技大会(ミニバレーボール)が開催された。

当日は10チームが参加しAパート・Bパートに分かれ、リンクリーグ方式21点先取(2セット)総得点方式で行われた。成績は次のとおり。

Aパート		Bパート	
優勝	信漁連・共水連 連合A	優勝	高水研
2位	海洋高校	2位	水産試験場(マンボウ)
3位	水産試験場(カツオ)	3位	信漁連・共済 連合B
4位	漁村振興課	4位	水産政策課
5位	漁連	5位	漁保・共済・基金 連合

安全衛生委員会・管理職会議

漁連では、去る8月10日(金)、漁連会議室において安全衛生委員会を開催した。これは、災害発生の防止及び職員の保健衛生の向上のために、毎年2回開催されている。今回は、下記の事項について報告・協議がなされた。

報告事項

・業務上の事故の状況について

協議事項

・ヘルメットについて
・避難時持ち出し品について

漁連では、去る8月10日(金)水産会館大研修室において、平成24年度第1回管理職会議を開催し、次の事項について報告・協議・研修を行った。

報告事項

- (1)平成24年度6月末事業実績について
- (2)役員補欠選任について
- (3)諸規程の改正等について
- (4)財務改善計画について
- (5)ぎょれん丸の外部委託について
- (6)農林水産省大臣官房検査の結果報告について
- (7)コンプライアンス実施について

協議事項

- (1)各出先持寄り事項
- (2)その他

人と自然との調和

台所用液体石けん

クレンザー

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

事業推進会議

漁連は、去る8月10日(金)水産会館において、県下漁協の参事及び購買・指導部門担当者を招集し、平成24年度の事業推進会議を開催した。会議では、平成24年度の県下漁協の概要及び本会事業について説明すると共に本年度の系統全利用について会員の協力を強く要請した。各事業の運営方針、推進事項は次のとおり

1.購買事業の運営方針

購買事業は、厳しい漁業環境に直面している漁業及び漁協経営に資するため適期に適正な価格でしかも良質品を安定的に供給し、漁業者の負託に答えてまいりたい。従って、漁業生産資材の需要を的確に把握し、宮崎県漁協系統購買事業推進委員会と協調しながら組織を結集して全面系統利用を強力に推進してまいりたい。

◎重点推進事項

- ①需要の系統組織への集中化体制の確立
- ②適正価格と良質品の安定供給
- ③的確な情報収集と提供
- ④適正在庫による供給体制の円滑化

(1)石油事業の推進事項

- ①適正価格と良質品の安定供給
- ②石油情報の早期把握と提供
- ③石油タンク施設の協同組合間相互利用
- ④付属油の拡販対策
- ⑤系統給油施設の点検整備の促進
- ⑥海外基地及び洋上積みの円滑なる供給

(2)資材事業の推進事項

- ①未利用資材の開拓
- ②適正価格と安定供給
- ③制度資金による船用機器類等の系統全利用推進
- ④餌飼料類の取扱推進
- ⑤天然石鹼の普及推進
- ⑥シェルナース(魚礁)の取扱推進
- ⑦船用飲料水の取扱推進
- ⑧情報の収集と提供
- ⑨適正在庫の保持

2.販売事業の取扱方針

養殖カンパチは、市場の需要と生産者の供給量の調整を図り、価格の安定向上が望まれる。取扱量としては、増加しているが今後の景気動向はまだ不透明であり、消費減退になる可能性もあることから、市場での取扱量の確保に努めてまいりたい。

また、依然として餌飼料の高値安定が続いており、厳しい経営を強いれていることから、引き続き安全で安価な餌料確保に努めてまいりたい。

養殖種苗の稚アジについては、相手先のオファー数量は多いが、漁様様に影響されるため、関係先の情報収集に努め、安定的な取扱を図りたい。

JF全漁連との事業提携においては、本県内で漁獲される多獲鮮魚・活魚の販売や、安全で安価な養殖飼料の供給に努めてまいりたい。

魚乃里「ぎょれん丸」はオープンから6年目を迎え、今後も集客を高める方策を取ると共に、効率的な運営による経費の削減に努めてまいりたい。

推進事項

- ①JF全漁連との事業提携による取扱推進
- ②いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会との連携強化
- ③養殖魚類の高品質化及びブランド化の推進
- ④活魚・鮮魚、加工品等の取扱推進
- ⑤養殖種苗・餌料、加工原料等の安定供給の推進



3.利用事業

(1)筏整備事業

利用事業は、海上での人命の安全確保のため膨張式救命いかだ及びGMDSS関連機器の整備を行っている。従って、点検整備にあたっては技術を練磨し整備規程を遵守して完全整備に努め、漁船員に対しては緊急時に充分なる対応ができるように取扱指導を実施してまいりたい。

推進事項

- ①完全整備の遵守
- ②漁船員に対する取扱指導の徹底③GMDSS関連機器の点検整備

(2)職業紹介事業

宮崎県漁業就業者確保育成センター内に設置した「無料職業紹介所」の運営を継続し、漁船員の確保に努めて参りたい。

- ①漁業現場での求人情報の収集
- ②漁業就業希望者からの問い合わせ対応及び求人情報の発信

4.製氷事業の取扱方針

製氷事業は、旋網漁業の漁獲不振かつお漁船の早期北上に伴う地元鮮魚出荷が低調で、氷の需要は漸減傾向にあり年々厳しい経営環境下にある。

このような中、本会としては、製氷工場施設の合理化を図り経営改善に努めているところである。平成24年度は、諸施設の能力を効率的に稼働し、需給の円滑化に努め漁業者の負託に応えまいりたい。

推進事項

- ①漁期前適正在庫の保有
- ②員内工場間の需給対策
- ③合理化運営によるコストの引き下げ
- ④工場の保安管理と安全対策

5.組織対策

- ①JFグループの組織・経営・事業戦略の実現に向けた取組の推進
- ②宮崎県1漁協構想推進協議会の事務局担当
- ③JF経営指導宮崎県委員会の事務局担当
- ④合併漁協支援資金利子補給事業の支援
- ⑤人権啓発推進

6.経営指導

- ①漁協役員教育研修会の開催
- ②漁協経営指導の促進
- ③一般的指導
- ④漁協参事会及び漁協職員連絡協議会の事務担当
- ⑤会員の監査

7.漁政・漁業振興活動対策

漁業振興のため国・県に対する陳情・要望をはじめとして、漁業就業者・後継者に関する対応、資源管理型漁業の推進、魚食普及対策、漁場環境保全のための啓発活動等の他、随時発生する漁政・漁業振興問題の適宜適正な対応に努めたい。



知ろう! 使おう! 広げよう! 3つの県民運動

- ・みやざき元気!“地産地消”県民運動
- ・宮崎を知ろう!100万泊県民運動
- ・中山間地域をみんなで支える県民運動



「ディスカバーみやざき 古事記をゆく浪漫紀行」 キャンペーン

実施目的

「古事記編さん1300年」をテーマにしたイベントを中心に、古事記関係イベントや祭り、シンポジウム等を一体的・集中的にPRするとともに、3つの県民運動との相乗効果を図り、幅広い分野のイベント等も絡ませながら、全県的な盛り上げを図る。

実施期間

平成24年10月1日(月)から12月2日(日)まで

DISCOVER MIYAZAKI ディスカバー宮崎スタンプラリー

古事記関係イベントのみならず、広い意味の地産地消関連のイベント、さらには中山間地域の施設(道の駅、温泉施設等)及び県内農産物直売所を対象に、県民が実際に巡ってもらうスタンプラリーも実施されます。

宮崎県民キャンペーン

3つの県民運動について、県民向けに広く、かつ分かりやすくPRするため、「古事記ゆかりのご当地グルメまつり」のステージイベントでのオープニングアクトや「ご当地グルメまつり」へのブース出展を行い、県民運動の紹介を行います。

1.開催日時	平成24年11月11日(日)午後1時から
2.会場	「ご当地グルメまつり」会場 特設ステージ(高千穂通り)
3.主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングアクト ・みやざき犬のパフォーマンス ・みやざき元気地産地消推進県民議会 会長挨拶(知事) ・「ご当地グルメまつり」へのブース出展 ・その他全国のゆるキャラ大集合 などなど盛りだくさん!



宮崎の魅力を
知ろう 使おう 広げよう
ディスカバー!宮崎
ディスカバー 宮崎 検索
みやざき元気!
“地産地消”
県民運動

「古事記ゆかりのご当地グルメまつり」 開催 JFグループ宮崎も参加



宮崎県では、古事記編さん1300年となる平成24年から、記紀編さん1300年事業が実施される。そのスタートアップ事業の一環として、県民や県外観光客に宮崎の魅力を満喫していただき、併せて地産地消を推進することにより地域の活性化を図るため、「古事記ゆかりのご当地グルメまつり」が11月9日(金)～11日(日)、宮崎中心市街地・高千穂通りを中心に開催される。

当日は、古事記ゆかりの3県(奈良県・島根県・宮崎県)の代表的な伝統芸能ステージをはじめ多彩なイベントが予定されている。

JFグループ宮崎としても、宮崎グルメ屋台へ、2テント出店を予定している。



忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの。
救命衣、着用していますか？
資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連
お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

JFライフジャケットA

(自動膨張式救命胴衣)



商品特徴

- ポケットと背中に、系統ロゴマーク「JF」刺繍入り。
- 海中転落事故の捜索費用の助成を目的とした保険を付与。
- ナイロンジャージ素材の襟付きで、首にソフトタッチ。
- 重量わずか540g。
- 浮力11.3kg(体重110kgの方でも大丈夫です。)
- マチ付きポケット採用。
(携帯電話等を入れることができます。)
- ポンベ・スプール(別売)を交換すれば、何度でも使用可能。
- ホイッスル・エア吹入補助バルブ・緊急手動レバー・反射リフレクター付き。
- 自動膨張式なので、泳ぎが苦手な方も安心。
- 国土交通省型式承認番号:第4458号。

FISHERIES CO-OPERATIVE

本年度発生した赤潮について

本年6月下旬から7月にかけて豊後水道周辺海域において、カレニア・ミキモトイという有害プランクトンによる赤潮が広範囲で発生し、本県を始め愛媛県と大分県において多大な漁業被害が発生しました。本県では、平成に入って有害種による赤潮は年に0~2件程度で推移していましたが、本年度は9月末時点で4件発生しております(図1)。特に有害種の代表格であるヘテロシグマ・アカシオとカレニア・ミキモトイの両方が赤潮を形成したのは平成元年以来のことです。今回は、この2種類の赤潮について、発生状況や気象条件等から今後の傾向と対策を考察したいと思います。

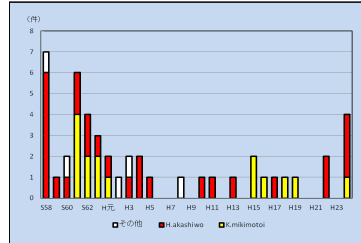


図1 宮崎県全域における有害赤潮の発生状況 (H24は9月末現在)

●ヘテロシグマ・アカシオについて

ヘテロシグマは、魚類のへい死を引き起こす有害種であり、海水1ml当たり10,000細胞以上の密度に達すると養魚がへい死する危険性が高くなり警戒する必要があります。また、本種は分裂を繰り返して増殖しますが、環境条件が整わなくなるとシスト(休眠期細胞)となって海底の泥に付着して越冬し、翌年の発芽を待ちます。つまり、一度赤潮が発生すると大量のシストが海底に堆積し、翌年に大量の栄養細胞が発芽するという可能性があります。北浦湾海域では、過去に発生した赤潮のうち本種によるものが一番多く、平成5年まではほぼ毎年発生していました。平成6年以降は毎年出現するものの赤潮を形成しなくなり、その要因は漁場環境が改善され栄養塩濃度が低下したことが大きいと考えていましたが、平成22年6月下旬から7月上旬にかけて北浦湾周辺海域において大規模発生し、過去最大の漁業被害が出てしまいました。漁場環境が改善されても気象等の条件しだいで大増殖を引き起こすことが確認され、警戒レベルを上げたものの平成23年度は数百細胞の出現にとどまりました。そして本年度、本種による赤潮は4月末から立て続けに3海域でほぼ同時期に発生しました(図2)。いずれの海域も発生源は、閉鎖性の高い湾や漁港内です。北浦湾と尾末湾ではかなり高濃度に増殖し漁港内から養殖漁場へと広がりましたが、関係漁業者による一斉餌止めと短期間(2~3日)で終息したことにより漁業被害は生じませんでした。なお、地理的に隔てた3海域で同時期に赤潮を形成したことから、この種の増殖要因はやはり気象や海象の自然現象に起因するウエイトが大きいと言えます。



図2 ヘテロシグマ・アカシオの赤潮発生期間 (H24)

また、過去の赤潮事例より5月から7月の大雨の後に赤潮を形成することから、底層水温20℃で発芽し、低塩分(33%未満)を好み、弱い光でも増殖し、増殖スピードが速いという特徴が挙げられます。赤潮発生時の気象条件を見ると、4月の中旬から断続的な雨が続き4月22日に80mmを超すまとまった降雨があり海水の塩分濃度の低下が示唆されます(図3)。水産試験場では、北浦湾において定期調査を行っていますが、4月23日の大雨直後の調査時においては、表層塩分は低下していたものの底層水温は18℃台でヘテロシグマの栄養細胞は確認されませんでした。赤潮発生期間においては、3海域ともに底層水温が20℃前後で表層塩分が33‰を下回っており過去の事例と同じ特徴を示していました。特に、北浦湾では発生期間の3日間全て雨で日照時間は少なく赤潮の長期化が懸念されましたが、快晴となった5月3日より他の珪藻類が増殖しヘテロシグマは激減しました。なお、3海域の発生日の多少のずれは、おそらくシストが発芽する発生源海域の水深の差であり、外気温の上昇に伴い浅い方から底層水温が20℃に達したと考えられます。

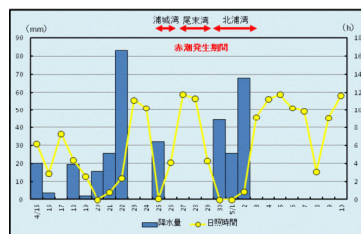


図3 ヘテロシグマ・アカシオの赤潮発生期間の気象条件 (宮崎県地方気象台)

ところで、北浦湾と浦城湾は過去にも本種による赤潮が発生しておりますが、尾末湾では発生記録がありません。2年前の大規模赤潮で流入したのか、あるいは延岡湾の南部や細島港内での発生事例があることからそもそも港内にシストが存在していたのかもしれませんが、いずれにしても、3海域とも確実に湾奥部や漁港内に本種のシストが堆積しているはずで、来年度の、底層水温が20℃に達する頃(例年では5月中旬)から潮色の変化に細心の注意を払ってください。

FISHERIES EXPERIMENT

●カレニア・ミキモイについて

カレニアは、海水1ml当たり1,000細胞以上の密度に達すると養魚がへい死する危険性が高くなり、また、アワビは海水が着色しない100細胞程度の濃度でへい死することがあるためヘテロシグマより低濃度での警戒が必要となります。また本種は、シストを形成せず、周年栄養細胞の形態で越冬しています。北浦湾海域においても、平成22年度の冬季濃縮調査で栄養細胞が確認されています(0.0007~0.0047細胞/ml)。しかしながら、本種が赤潮を形成した過去8年(S61、62、63、H元、H15、H16、H18、H19)は、北浦湾での発生以前に全て大分県海域で赤潮を形成しており、豊後水道を南下して北浦湾に流入していると考えられてきました。それを確認すべく、平成20年度から大分県との県境付近の調査を開始しましたが、その最大細胞数と北浦湾内の最大細胞数は表1のとおりです。北浦湾と県境付近の最大細胞数の時期はほぼ一致が見られ、概ね両者は相関しています。県境付近の定点は水深40m程の沖合であり、潮流や栄養塩の関係で本種が増殖する環境にないと考えられます。赤潮の形成は、決まって閉鎖性が高く潮流の弱い湾奥部や陸水の影響を受ける沿岸域です。

本年度は、7月上旬に大分県において本種の赤潮発生海域が南下傾向にあったことから7月9日に定期調査を行ったところ、本年度初めてカレニアの細胞が確認され最大214細胞/mlが沖側の湾口部で確認されました(図4)。このとき、潮色は良く透明度も平均9.7m(平年値5.1m)とかなり高い値を示し、珪藻類の激減と水温の急上昇、本種の細胞数が湾奥になる程少ない点を踏まえると、まさに沖からの潮に乗って本種が流入した直後の様子を捉えることができたのかもしれない。透明度は高いものの、カレニアが完全な優占種であったことから直ちに一齐餌止めを周知しました。翌日には、湾奥でも140細胞/mlと増加しておりました。

また、10日には北浦湾から浦城海域を越え安井港でアワビのへい死が確認されたことから、100細胞/ml以上のカレニアの流入があった可能性があります(翌日調査では70細胞/ml)。

12日の県境付近の調査で、740細胞/mlのカレニアが確認され、北浦湾に近づくと濃度が薄くなり拡散している様子を捉えることができました(図5)。それと同時に9日に流入した本種が湾奥部で増殖しており、最大1,532細胞/mlの赤潮形成が確認されました。同日、延岡湾を越えた尾末湾でも最大60細胞/mlが確認されました。おそらく、9日にはもっと高濃度なカレニアが沖合で南下・拡散していたことが想像されました。

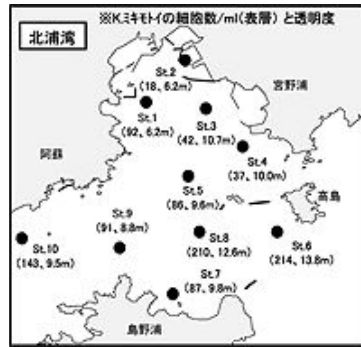
ところで、本種についての特徴は、ヘテロシグマほど増殖スピードは早くないものの、低塩分を好む点と弱い光でも増殖する点は似ています。赤潮発生時の気象条件を見ると、本種が流入したと思われる9日以降、11日と12日に2日で約80mmのまとまった降雨があり表層の塩分濃度が32‰台に低下しており、それに伴い赤潮の形成が確認されました(図6)。13日と14日も曇りがちの天気で3日間継続した後15日には最大75細胞/mlと減少し、塩分濃度の回復と他の珪藻類の増加に伴い終息しました。

今回の赤潮は、養魚がへい死すると考えられる濃度まで増殖しましたが、一齐に餌止めが行われたため、大きな被害はありませんでした。カンパチ稚魚1300尾(70万円)がへい死したという報告がありますが、避難のための筏の移動によるもので全滅ではなく一部ということです。一方、アワビは本種に弱く、安井地区と浦城地区でほぼ全滅し約365万円の被害が出ました。一方で、須美江地区のアワビは餌止めを行ったことで200細胞/mlを超える濃度に対しへい死個体はほんの一部でした。

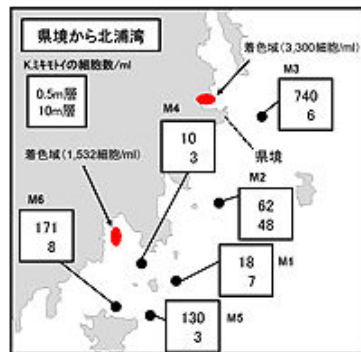
本年度は、大分県海域の赤潮が南下し本県海域に流入後赤潮を形成をするということが再確認されるとともに、県境付近からの移流・拡散の状況を初めて捉えることができました。これらのことから、カレニアが湾内に高濃度で流入し、他の競合種、塩分濃度、日射量、栄養塩等の条件が整えば、赤潮形成に至るものと考えられます。

年層	北浦湾内		県境付近	
	細胞数/ml	(月/日)	細胞数/ml	(月/日)
H20	3.0	(7/14)	4.3	(7/26)
H21	70.0	(8/3)	16.7	(7/26)
H22	0.3	(9/2)	5.3	(8/19)
H23	2.3	(7/25)	2.7	(7/4)
H24	1550.0	(7/14)	740.0	(7/12)

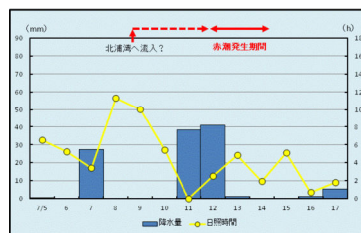
(表1)カレニア・ミキモイの年度別最大細胞数



(図4)定期モニタリング調査結果(7月9日)



(図5)県境から北浦湾の調査結果(7月12日)



(図6)カレニア・ミキモイの赤潮発生期間の気象状況 宮崎地方気象台

●最後に

赤潮の発生機構の解明については、これからも鋭意取り組んでいくこととしますが、まず出来ることとして定期的にモニタリング調査を行い有害プランクトンの早期発見と現場からの情報収集に努めることを継続してまいります。今後とも、海水の着色や異常を確認された場合は、水産試験場(0985-65-1511)又は地元振興局(東臼杵農林振興局:0982-32-6135・南那珂農林振興局:0987-23-4312)まで御連絡ください。

一方、赤潮発生時の対策としては、一般的には餌止めと避難(生け簀の移動や沈下)がありますが、早期に餌止めを行い生け簀にむやみに近寄らないことが現実的な対策になると考えられます。原因プランクトンが警戒密度を下回るまで、いかに養魚をおとなしくさせておくかが重要となります。餌止めをしないとしないのでは、へい死率に数倍も差があることは実験的にも確認されていますし、本年度のカレニア赤潮でアワビについても餌止めの効果が実証されました。

今後とも、ヘテロシグマとカレニアについては最大限の注意が必要です。

8月の動き (県関係)

10日	平成24年度第1回儲かる漁業実現プロジェクト推進協議会(宮崎市)
21日	宮崎海区漁業調整委員会事例交付式(宮崎市) 第357回宮崎海区漁業調整委員会(宮崎市)
29日	第2回宮崎県資源評価委員会(宮崎市)

このブロックには、JFグループの「大漁」シリーズの油の宣伝ポスターが2枚掲載されています。左側のポスターは赤い背景で、キャラクターは赤い着物を着用し、「これからよろしく大漁オイル」というメッセージが縦書きで表示されています。右側のポスターは青い背景で、キャラクターは青い着物を着用し、「これからよろしく大漁オイル」というメッセージが縦書きで表示されています。両ポスターの下部には、大漁シリーズの様々な油の製品画像が並んでいます。

このブロックには、JF共済の宣伝バナーが掲載されています。バナーには「♪海といっしょに 浜といっしょに♪」というフレーズと、イカ、魚、漁師、 scallop、エビのキャラクターが描かれています。また、「元気に暮らそう JF共済」というメッセージがあり、サービスとして「チョコ・くらしカサト リコー」「ねんきん がんしん なぎざ年金」が紹介されています。下部には「漁業協同組合・JF共済推進本部」とあり、ウェブサイト「http://www.kyosui.or.jp」が記載されています。

平成24年度 宮崎県船員労働安全衛生協議会総会

去 8月21日(火)、宮崎県船員労働安全衛生協議会(会長 丸山英満)の平成24年度総会が水産会館5階大研修室において開催された。協議内容は以下の通り

- (1)役員改選について
- (2)平成23年度事業報告及び決算報告について
- (3)平成24年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (4)その他

漁船セーフティラリー 南九州 2012

実施機関:10月1日(月)~12月31日(月)

漁 船の無事故を目指し、昨年に引き続き宮崎県内各漁業協同組合単位による「漁船セーフティラリー」を実施し、漁船乗組員相互による安全意識を啓発していきます。

安全な運航と海難防止にご協力をお願いします。

- 見張りの徹底
- 居眠り運航の防止
- 気象・海象情報の入手
- ライフジャケットの常時着用等事故救命策の確保



漁青連ボーリング大会

去 8月13日(月)、宮崎県漁協青壮年部連絡協議会(会長 浜本将太)は、宮崎エースレーンにおいて漁青連ボーリング大会を開催した。各漁協青壮年部7団体、総勢76名の漁業者が参加し交流を深めた。大会結果は以下の通り

個人戦順位		
1位	小西 昇吾	日向市漁協青壮年部C
2位	是澤 友則	日向市漁協青壮年部E
3位	中村 貴明	日南市漁協青壮年部B
団体戦順位		
1位	日向市漁協青壮年部E	
2位	門川漁協青壮年部A	
3位	日南市漁協青壮年部B	



8月の動き

4日	水産関係団体親善球技大会 宮崎県浮魚礁利用協議会 高知県・愛媛県との調印式
10日	漁連事業推進会議 安全衛生委員会 第1回管理職会議
13日	漁青連ボーリング大会